

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年4月2日(2015.4.2)

【公開番号】特開2014-157207(P2014-157207A)

【公開日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-046

【出願番号】特願2013-27382(P2013-27382)

【国際特許分類】

G 0 9 F	9/30	(2006.01)
G 0 9 G	3/36	(2006.01)
G 0 9 G	3/20	(2006.01)
G 0 2 F	1/133	(2006.01)
G 0 2 F	1/1343	(2006.01)

【F I】

G 0 9 F	9/30	3 9 0 C
G 0 9 G	3/36	
G 0 9 G	3/20	6 4 2 D
G 0 9 G	3/20	6 4 2 K
G 0 2 F	1/133	5 1 0
G 0 2 F	1/1343	

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月13日(2015.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

本実施の形態では、1つの画素10内で、このような画素10G, 10Wが、画素中心(例えば画素10のXY平面形状の重心)に対して対称性を有して配置されている。即ち、本実施の形態では、1つの画素10が、本開示における「単位領域」の一具体例に相当する。尚、輝度成分(Y)を多く含む色としては、上記G, Wの他にも、例えばY(黄色), Cyan(シアン)等が挙げられる。ここでは、本開示の「第1のサブ画素」および「第2のサブ画素」として、画素10G, 10Wを例示するが、これらの画素10G, 10Wのうちの一方または両方に替えて、黄色あるいはシアンを発光する画素が配置されていてもよい。また、1つの画素(ピクセル)内にこのような輝度成分を多く含む波長を発する画素(サブピクセル)を3つ以上含んでいてもよい。